

# 高度な技術 傷小さく

今回は、婦人科内視鏡治療を取り上げた。小型カメラがついた医療器具・内視鏡を使って婦人科の病気を治す治療法のこと。小さな傷で治療ができ、痛みが小さく、手術後の回復が早いなどの利点がある。一方、特殊な器具を使い、平面画像を見ながら作業しなければならぬ難しさがあり、高度な技術が求められる。

## 病院の 実力

\*和歌山編66

一覧表ではまず、2012年に各施設で行われた婦人科内視鏡手術の総件数を示した。全国版では、おなかに小さな穴を開けて入れ

る腹腔鏡、腔から入れる子宮鏡と卵管鏡の内視鏡を示したが、地域版では病気がこの内視鏡を掲載した。内視鏡を使った婦人科の手術で最も多いのが、子宮筋腫だ。良性だが、月経痛や過多月経、貧血などの症状があれば治療が必要だ。手術は、子宮の全摘術と、筋腫のみ切除する核出術がある。できた場所により、子宮鏡を使うか、腹腔鏡を

使うかが異なる。良性の卵巣腫瘍は、卵巣がねじれると激しい痛みや出血が起る恐れがあり、ある程度の大きさなら手術を検討することになる。子宮内腫瘍は、子宮の内側を覆う組織(子宮内膜)が体の別の場所にてきてしまふ病気だ。月経時に激しい痛みを伴う。いずれの病気も、不妊の原因となることがある。妊娠を希望するのなら、体外受精や顕微授精という高度不妊治療の実施状況も、施設選びの一つの目安になる。

\*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。

子宮筋腫の治療は近年、様変わりしました。以前は見つかった筋腫が大きくなり、痛みが激しいなどの理由で、子宮をすべて摘出する手術が主流でした。ただ、最近ではがん検診や不妊治療をきっかけに、早い段階で筋腫だけを除去する手術を選択する人が多くなっています。全摘出と筋腫だけを切り取る核出術では、患者さんの精神的な負担は大きく違います。傷が小さくて済む内視鏡手術は術後の痛みが少なく、当院では、調子が良ければ手術の翌日から、普通に食べ、歩くことができます。4日で退院できるため、内視鏡手術を望む人が増えています。

## 婦人科内視鏡治療

病院の実力「婦人科内視鏡治療」

医療機関別2012年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	年間手術件数 (件)	うち子宮筋腫の 核出術 (件)	うち子宮筋腫の 全摘術 (件)	手術 (件)	高度不妊治療の 実施 (件)
奈良県					
高の原中央	547	69	164	71	113
奈良県立医大	190	29	27	48	35
県立奈良	108	10	24	33	20
近畿大奈良	79	1	24	21	19
はらだ医院	45	2	13	14	13
和歌山マタニティ・レディース	39	1	12	6	6
大阪府					
大阪中央	813	194	203	201	191
日生	596	129	144	138	74
大阪労災	321	58	28	111	37
箕面市立	269	41	45	99	17
近畿大	263	40	86	56	34
市立貝塚	253	32	10	98	63
大阪医大	238	21	44	87	28
大阪市立総合	173	26	35	64	25
府立急性期・総合	138	14	22	49	15
大阪大	133	11	5	35	30
住吉市民	125	7	30	31	23
しんやしき産婦人科	119	23	35	10	21
谷川記念	82	4	32	29	15
府済生会吹田	80	7	21	23	11
松原徳洲会	70	17	11	16	12
医誠会	65	9	26	13	6
谷口	47	0	3	15	4
府立成人病セ	28	2	4	7	1

※「セ」はセンター。「ク」はクリニック。高度不妊治療で、○は体外受精と顕微授精を実施。調査は日本産科婦人科内視鏡学会の技術認定医が所属する医療機関を対象に実施。「和」は和歌山県。

## 向林 学副院長に聞く



「内視鏡での手術は痛みが少なく、回復も早い」と話す向林副院長(橋本市の奥村マタニティクリニックで)

日本産科婦人科内視鏡学会の技術認定医で、奥村マタニティクリニック・レディースクリニック(橋本市東家)の向林学副院長に、婦人科内視鏡手術の特徴や現状を聞いた。

(加野聡子)

## 痛み少なく3、4日で退院

見つかった場合に、内視鏡での手術を検討します。初診で不妊の相談に来られる方が毎月10人前後。うち子宮や卵管に手術が必要な異変が見つかるケースは1〜2割です。症状の改善が期待できれば手術をしますが、難しいと判断すれば体外受精に踏み切ることもあります。子宮の筋層の中や、表面上に出っ張っている筋腫は腹腔鏡、子宮の内側にあるものは子宮鏡で取り除き、卵管の癒着や閉塞は、卵管鏡によって治すことができます。内視鏡手術に使用する器具は日々進歩しており、様々な種類のものが開発されています。

ただ、開腹手術であれば傷から臓器まで全体を見ることができませんが、内視鏡の手術では傷は1センチ以内。そのため、執刀医は出血や皮膚の血腫といった合併症に注意が必要です。手術中に出血が増えたり、時間がかかったりする時には、途中で開腹に切り替えることもあります。

不妊の予防策は一概には言えませんが、バランスの良い食事など、きちんとした生活を送ることが重要ではないでしょうか。昨年頃から、当院では肥満から生理不順となり、不妊の相談に来られる方が増えています。そうした方には、食事指導から始めます。

また、若い人には性感染症のクラミジアによる卵管の閉塞が多く見られます。クラミジアは症状を感じにくく、健康診断の検査では発見できないため、一度、専門的な検査をすることをすすめます。また、子宮筋腫は加齢によってできやすくなると思われています。晩婚化が進んでいますが、できるだけ早く子どもを産める環境を整えることも大切でしょう。

手術が主流でした。ただ、最近ではがん検診や不妊治療をきっかけに、早い段階で筋腫だけを除去する手術を選択する人が多くなっています。全摘出と筋腫だけを切り取る核出術では、患者さんの精神的な負担は大きく違います。傷が小さくて済む内視鏡手術は術後の痛みが少なく、当院では、調子が良ければ手術の翌日から、普通に食べ、歩くことができます。4日で退院できるため、内視鏡手術を望む人が増えています。

不妊の予防策は一概には言えませんが、バランスの良い食事など、きちんとした生活を送ることが重要ではないでしょうか。昨年頃から、当院では肥満から生理不順となり、不妊の相談に来られる方が増えています。そうした方には、食事指導から始めます。また、若い人には性感染症のクラミジアによる卵管の閉塞が多く見られます。クラミジアは症状を感じにくく、健康診断の検査では発見できないため、一度、専門的な検査をすることをすすめます。また、子宮筋腫は加齢によってできやすくなると思われています。晩婚化が進んでいますが、できるだけ早く子どもを産める環境を整えることも大切でしょう。